

# 漁海況通信

長崎県総合水産試験場 漁業資源部 海洋資源科  
 〒851-2213 長崎市多以良町 1551-4 電話 095-850-6304 FAX 095-850-6346  
 ホームページアドレス <http://www.marinelabo.nagasaki.nagasaki.jp/>

## 対馬・壱岐海区におけるスルメイカ漁況予報

**「対馬・壱岐海区における12月～2月のスルメイカの漁獲量は、前年並みでしょう。」**

### 予測の考え方

- 今期（12～2月）漁獲対象となる冬生まれ群は、東シナ海で冬季に生まれた後、春から夏に成長しながら北海道周辺まで北上し、秋から冬に産卵のために日本海を経て東シナ海へ南下します。本県近海では、この南下群を冬季に漁獲対象としています。
- 今期の予測は冬季発生群の加入状況や漁場への来遊状況が根拠となります。

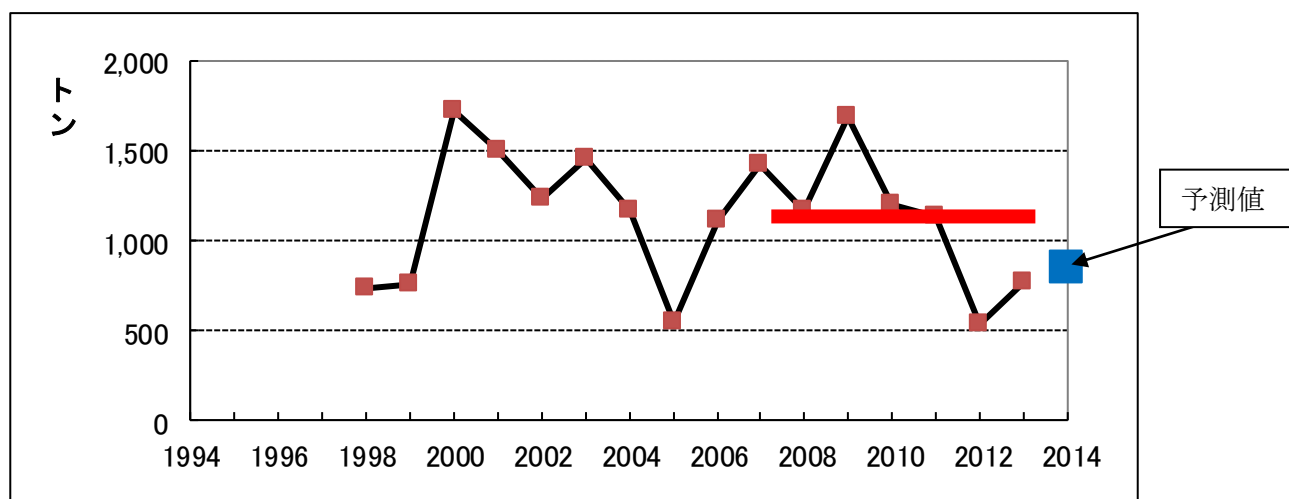
### 予測の根拠

- スルメイカ冬季発生群の資源状態は現在のところ「中位」で「横ばい傾向」にあると評価されています。（水産庁平成26年度資源評価ダイジェスト版スルメイカ冬季発生系群より）
- 一方、秋に実施された第2次漁場一斉調査の結果では、今期の冬季発生群の量は前年を若干上回った、と見積もられています。
- また、北海道周辺海域の冬季発生群における今期10-12月の漁況は、海域により差があるものの、前年並み～若干上回っている模様です。

以上のように、近年の資源状態に大きな動きはなく、他海域の漁況も概ね前年程度であることから、  
 対馬・壱岐海区におけるスルメイカの今期（12～2月）の漁獲量は「前年並み」と予測しました。

- 【参考】対馬・壱岐海区代表漁協における12～2月のスルメイカ漁獲量
- 平年値（過去5ヶ年平均）：1,100トン
  - 平成25年度漁期：769トン
  - 平成26年度漁期予測値：900トン

上回る	並み	下回る
前年の1.2倍以上	前年の0.8～1.2倍	前年の0.8倍以下



対馬・壱岐標準漁協におけるスルメイカ漁獲量（図中赤線は平年値）